



## ご利用までのながれ

利用するには、お住まいの区役所で『通所受給者証』を取得する必要があります。

## 費用

通所受給者証を取得すると、下記の月額でご利用できます。（療育手帳はなくてもご利用可能です。）受給者証の申請方法なども、**あんじゅ**にお気軽にお問い合わせください。

毎月の自己負担額	無償化対象期間 所得区分
0円	生活保護・非課税世帯
0円	無償化期間（満3歳4か月～小学校入学前）
4,600円	概ね年収890万円以下の世帯
37,200円	上記以外

## 1日のスケジュール

### 午前の部

9:30～10:20	順次登園 自由遊び
10:20～11:30	集団療育
11:30～11:45	排泄 昼食準備
11:45～12:30	昼食
12:30～13:00	降園準備 順次降園 送迎

### 午後の部

14:30～15:00	順次登園 おやつ
15:00～16:00	プログラム①
16:00～16:20	休憩 トイレ など
16:20～17:00	プログラム②
17:00～17:30	降園準備 降園

※17:30の送迎はありません

## 0～18歳までの一貫した療育で『生きる力』をはぐくみます

2歳～就学前の成長・発達はとても大切な時期です。あんじゅでは一人一人の特性や個性を大切にしながらも、集団活動を通して“本来自分が持っている力を伸ばす”そんな支援が重要と考えています。あんじゅから育っていくお子さまが園生活の時や就学時に先生の話聞く、お友だちと同じ活動に楽しく参加できる、など『環境適応能力』が向上し、**自ら考え選択する力**を身につけられることを目指しています。

あしたのつばさでは、児童発達支援・放課後等デイサービス、特別支援特化型通信制高校を運営することで幼児教育から学齢期までのお子さまを、一貫してサポートできるシステムがあります。

### 併用利用ができます

幼稚園や保育園との併用利用が可能です

【利用例】

- 午前幼稚園を利用  
午後にあんじゅ療育
- 月・水・木にあんじゅ療育  
火・金は保育園を利用

### お悩み事例

- ✓ 他害、自傷の傾向がある
- ✓ こだわりやかんしゃくが強い
- ✓ 友だちとの関わりや  
集団参加が苦手
- ✓ じっとしていることが苦手
- ✓ 言葉の発達が遅いと感じる

### 開所時間

営業日 月～金曜日  
休業日 土・日・祝  
営業時間 9:00～17:30

相談・見学・体験  
随時受付してます

# 093-980-5847

北九州市八幡西区医生ヶ丘6-1-2F

北九州市認定  
児童発達支援事業所  
保育所等訪問支援

# あんじゅ



ASITA\_NO\_TSUBASA

# あんじゅの 特化型保育

障がいがあるにかかわらず、どんな子どもたちにも  
何かの訓練が必要で『効果的なタイミング』があります。

## 集団療育

— 将来を見据えた療育 —

子ども達が夢中で遊べるアダプテーション  
トレーニングを取り入れ、楽しさの中  
で小さな成功体験を積み重ねられる様な  
プログラムになっています。

《プログラムのねらい》

- ① 自己肯定感を培うことができます。
- ② 環境に対する適応能力の  
力が引き出されます。

## 個別サポート

お子さま一人ひとりの個性、特性  
を深く理解した上で専門的な関わり  
を大切に、不安なく遊び、集団  
活動の中での行動を発育・発達・  
学習に分けることで正しく関わり、  
お子様の成長を支援します。

## アダプテーション トレーニング

— 環境適応能力 —

環境適応能力を刺激し  
脳と運動を活性化するプログラム

運動の発達は脳の発達を意味します。  
運動発達において「体幹機能への刺激」  
は重要。すなわち「脳機能への刺激」と  
いう意味でもとても重要になります。

楽しい、面白い  
またやりたい  
そんなトレーニングを  
目指します。

## 児童発達支援施設に対する 誤解やイメージ

今の時代は障がいと診断されなくても  
集団でいることが生きにくい時代です。  
もう特別なことではないのです。世の中で  
適応していくにはポイントがあります。

## あんじゅにできること

『作業療法を用いた機能プログラム』  
子どもは子ども同士の世界の中で様々な  
経験をして社会性の基礎、対人関係の基礎  
が身に付きます。子ども同士の集団の中  
で起こる問題を問題としてとらえず、  
「成長のための学び」と捉え関わることで、  
就学時に子どもたちが学校生活を  
楽しく送れるような支援を  
しています。

## 保育所等訪問支援

集団生活の中で過ごしやすくなるように、  
訪問して一緒に考えさせていただきます。

### 保育所等訪問支援とは？

お父さまが集団生活に適應できるように、お父さま  
の様子や集団の環境に応じて、直接的に関わったり  
環境や関わり工夫を一緒に考えていく支援をして  
いくものです。療育の専門職（訪問支援員）が幼稚園・  
保育所・学校などに訪問し、先生と相談しながら  
“実際の集団生活の中”で直接支援を行います。

ご利用のながれ

ご相談

所属先(幼稚園や保育所など)への説明・同意

サービスの申請・手続き

個別支援計画の作成

START

保護者の  
交流

## わいわい あんじゅカフェ

悩みや課題を相談しあう場として、  
毎回多くの方にご参加いただいで  
います。

《参加者の声》

- ★悩みを共有できて、安心した。
- ★先輩保護者のお話が聞けて、  
参考になった。 など



## 専門家のサポート

作業療法士監修のもと、子ども達の発達支援や活動  
プログラムの方針を定めていきます。それに基づき、  
児童発達支援管理責任者による個別支援計画の作成・  
実践を行うことで、効果的な支援を提供していきま  
す。また、保護者の方に無料でご利用いただける、  
心理士によるカウンセリング(オンライン)もご利用  
いただけます。ご希望の方は是非お問い合わせくだ  
さい。



選択理論心理士

川合 亜紀子 カウンセラー

保育士として、乳幼児教育25年の実績を持ち、カ  
ウンセラーとして多くの保護者のカウンセリングを行う。  
※ご利用者さまのカウンセリングも行います。(無料)